

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【公開番号】特開2003-261744(P2003-261744A)

【公開日】平成15年9月19日(2003.9.19)

【出願番号】特願2002-374816(P2002-374816)

【国際特許分類】

C 0 8 L 63/00 (2006.01)

C 0 8 G 59/20 (2006.01)

C 0 8 J 5/24 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 63/00 A

C 0 8 G 59/20

C 0 8 J 5/24 C F C

C 0 8 L 63/00 A

C 0 8 L 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月26日(2005.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 (a) オキサゾリドン環構造を有するエポキシ樹脂を含むエポキシ樹脂成分と、(b) 硬化剤と、(c) 前記エポキシ樹脂成分に溶解可能な熱可塑性樹脂を前記エポキシ樹脂成分100質量部に対して20～100質量部含有し、硬化物の平行光線透過率が30%以上であることを特徴とするエポキシ樹脂組成物。

【請求項2】 前記(a) エポキシ樹脂成分は、さらにビスフェノールS型エポキシ樹脂を含むことを特徴とする請求項1記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項3】 前記(b) 硬化剤がジシアンジアミドを含み、該ジアシンアミド含有量が前記(a) エポキシ樹脂成分100質量部当たり3質量部以下であることを特徴とする請求項1記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項4】 請求項1記載のエポキシ樹脂組成物を補強材に含浸してなる自己接着性プリプレグ。

【請求項5】 前記補強材が織物である請求項4記載の自己接着性プリプレグ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

本発明者らは、上記目的を達成すべく鋭意研究した結果、本発明を完成した。すなわち、本発明は、(a) オキサゾリドン環構造を有するエポキシ樹脂を含むエポキシ樹脂成分と、(b) 硬化剤と、(c) 前記エポキシ樹脂成分に溶解可能な熱可塑性樹脂を前記エポキシ樹脂成分100質量部に対して20～100質量部含有し、硬化物の平行光線透過率

が 30%以上であることを特徴とするエポキシ樹脂組成物である。

本発明のエポキシ樹脂組成物は、前記 (a) エポキシ樹脂成分が、さらにビスフェノール S 型エポキシ樹脂を含むことが、耐熱性を向上させる点で好ましい。

また本発明のエポキシ樹脂組成物は、前記 (b) 硬化剤がジシアンジアミドを含み、該ジシアシンアミド含有量が前記 (a) エポキシ樹脂 100 質量部当たり 3 質量部以下であることが、外観向上の点で好ましい。

本発明はまた、かかる エポキシ樹脂組成物を補強材に含浸してなる自己接着性プリプレグを提供するものである。

本発明の自己接着性プリプレグは、前記補強材が織物である場合、外観が更に際立つ為好ましい。